

2020年度 事業報告書

(2020年4月1日から2021年3月31日)

NPO 法人グラウンドワーク笠間

1. 総括

2020年度は「コロナに始まりコロナに終わる(終わらない)」悩ましい1年でした。様々な活動がコロナで制約され厳しい環境でしたが「雨が降っても傘をさせばできることがある」との信念で「コロナとの共生」を主眼に NPO 活動に取組みました。4月17日～20日間の「緊急事態宣言」発出時には、「コロナに負けるな雨傘応援基金」を立上げ、ステイホームに対応するため「出前サービス(エールランチ)」に取組み約1,500食を超安価で市民に届けました。また緊急事態宣言明けには、国の「GO-TO 商店街事業」に対応する集客イベントとして「GO-TO まちの駅笠間宿」を2回開催しました。継続事業の「笠間ふれあい大学」は、4～5月と1～3月の計5か月は休講しましたが、合計17回開催しました。コロナ渦中なので「換気・検温・3密回避・マスク着用」等、細心の用心をして開催しました。2021年1月には「笠間ふれあい TV 局(インターネット YouTube)」を立ち上げました。

2021年度もコロナの終息が全く予測困難であり、高齢者 NPO には厳しい局面が続きますが、元気をだして「まちづくりと多様な市民の居場所作り」に取組む所存です。

引き続き皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

以下、主な事業内容についてご報告いたします。

2. 主な事業内容

事業名 (定款記載)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者人数	(D) 受益者範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
①講演会開催 ・講座開設	・「笠間ふれあい大学」の開設 月2～3回のペースで開催 ・音楽科の新設(健康カラオケ)	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 12人	(D) 笠間市民 (E) 550人	478
②インターンシ ップ・教育体験ツ アー受入	・インターンシップ受入 ・教育体験ツアーの受入 ・産学連携の取組み	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 15人	(D) 大学生 都会の学童 (E) 5人	120
③「まちの駅笠間 宿」賑わい創出	・フリーマーケット定期開催 ・多様なイベント開催(春夏秋冬) ・「幸せの黄色い広場」の活性化	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 12人	(D) 笠間市民等 (E) 12,000人	364
④イベント開催と イベントに参加	・「ふれあいサロン」の活性化 ・音楽イベント開催 ・ストリートピアノの開放	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 12人	(D) 笠間市民 (E) 850人	1,154
⑤「インフォメー ションセンター」の 管理運営	・サービス都情報発信機能の発揮 ・ママさんとシニアの雇用創出	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 6人	(D) 来場者 (E) 4,500人	3,280
⑥観光客の誘致	・首都圏からのツアー誘致 ・インバウンドの取組み ・提案型ツアー誘致	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 5人	(D) 来場者 (E) 50人	150
⑦学童の登下校 時の立哨補導	・子どもと高齢者の見守り活動 ・学童登下校時の立哨補導	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 1人	(D) 学童 (E) 1,200人	—
⑧「ともだちハウ ス」の管理運営	・2019年4月オープン ・安心・安全な管理運営 ・アウトリーチ活動の推進 ・スタッフ確保と教育	(A) 通年 (B) 笠間市 (C) 10人	(D) 小学生受入 シニア雇用 (E) 11人	21,427

合計26,973千円